

第2章 現況調査

2-1 本市の概要把握

本市は静岡県西部の中東遠地域に位置し、北は南アルプス最南端の八高山、大尾山の峰、東は栗ヶ岳、中山峠、西は小笠山、南は遠州灘と自然に囲まれた都市で、平成 17 年 1 月に旧掛川市・旧大須賀町・旧大東町の合併により県下 6 番目の広さを持つ新しい掛川市が誕生しました。

古くは日坂宿や掛川宿などの宿場町や、掛川城や横須賀城を中心とする城下町が形成され、交通・文化の中心地として発展を遂げました。江戸と京都を結ぶ東海道の宿場として栄え、また相良と信州を結ぶ「塩の道」の拠点でもありました。

近年においては、交通の要衝として東海道新幹線、東名高速道路、国道 1 号が市中央部を東西に、南部には国道 150 号が横断し、さらに、北部において新東名高速道路の開通により、まさに日本の大動脈を抱えているといえます。また近隣には御前崎港や富士山静岡空港にアクセスでき、立体的な交通網が充実した広域交通の要衝地としての役割が期待されています。豊かな自然・歴史・新都市機能を併せ持った都市といえます。

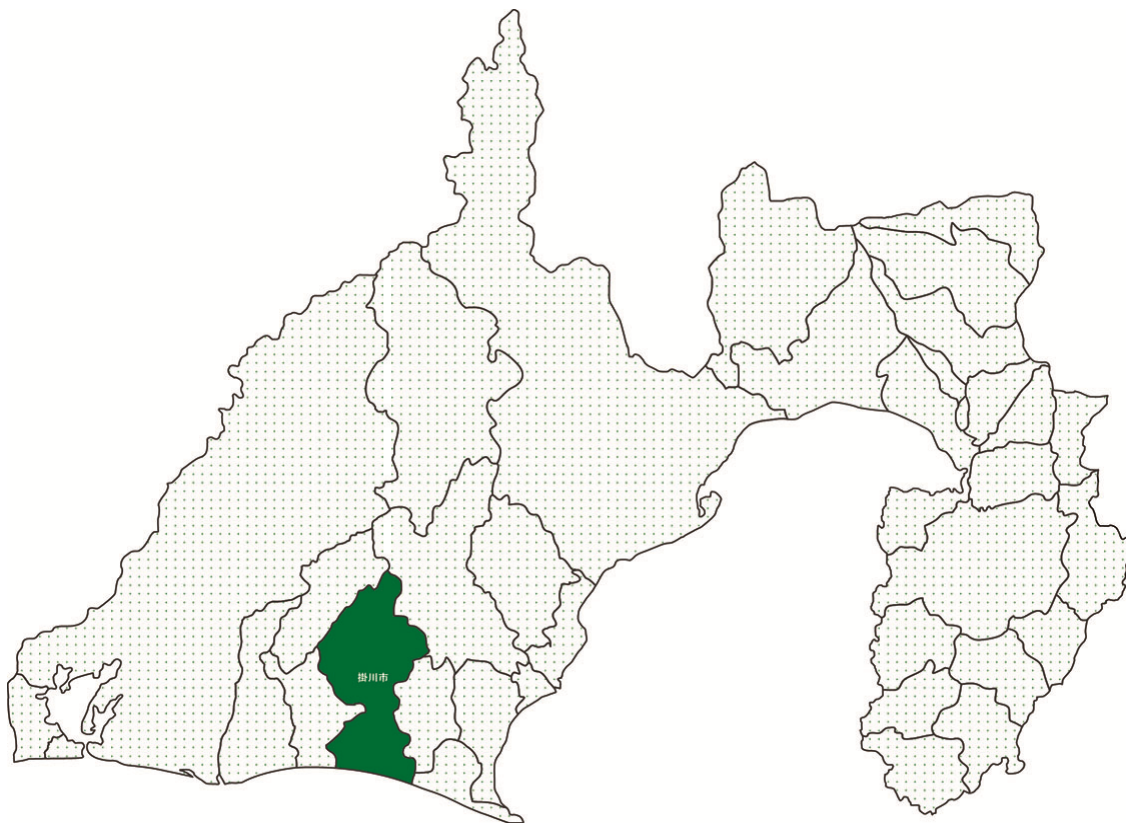


図 2-1-1 本市の位置

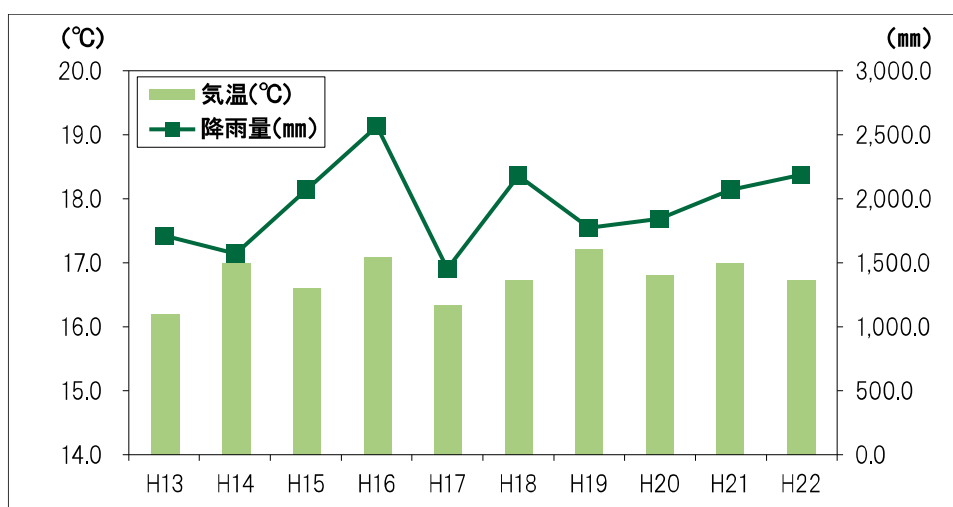
2-2 自然的条件調査

(1) 気象環境調査

本市は年間を通じ北西風の傾向にあり、夏季は温暖多湿、冬季は降水量が少ないのが特徴です。

平成13年～平成22年までの年平均気温の変化をみると、過去10年間の平均気温は16.8℃と比較的温暖であり、16℃～17℃前後と比較的安定していることがわかります。

また、降雨量は過去10年間平均で1,940.6mmとなっていますが、1,400mm～2,600mm前後で、年ごとにばらつきがあります。



(資料:平成24年度 都市計画基礎調査)

図 2-2-1 過去10年間の平均気温と降水量の変化

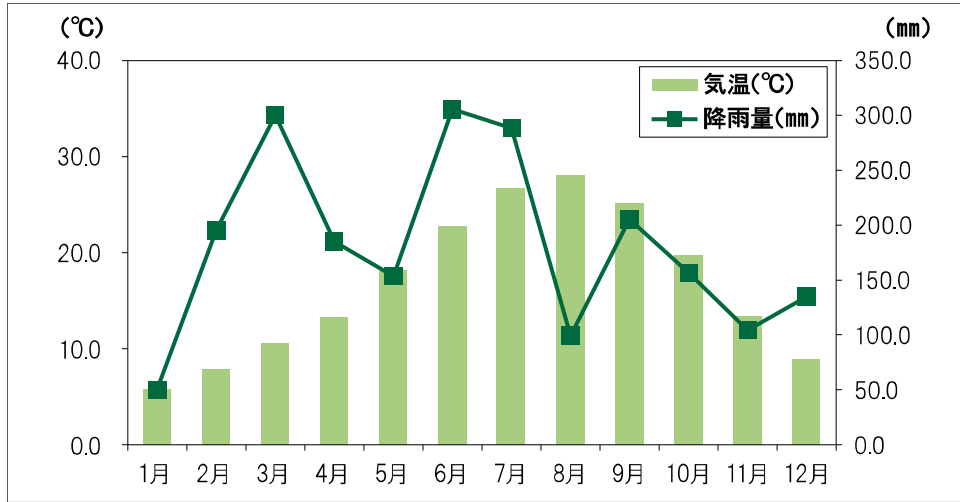
表 2-2-1 過去15年間の気象概況

年	気温(°C)			降水量(mm)			風向	
	平均	最高	最低	総量	日最大降水量	降雪量	最多風向	最大風速時
H.13	16.2	38.0	-3.3	1,707.5	222.5	0.0	WNW	NW
H.14	17.0	37.9	-2.8	1,565.0	205.0	0.0	WNW	WNW
H.15	16.6	36.8	-3.5	2,078.0	157.5	0.0	WNW	NW
H.16	17.1	39.9	-4.3	2,557.5	209.0	0.0	W	SSW
H.17	16.3	37.1	-4.7	1,454.0	92.0	0.0	WNW	NE
H.18	16.7	39.2	-5.4	2,177.0	—	—	—	—
H.19	17.2	36.7	-0.3	1,771.5	—	—	—	—
H.20	16.8	38.8	-5.1	1,833.6	—	—	—	—
H.21	17.0	36.5	-2.6	2,071.0	—	—	—	—
H.22	16.7	35.7	-4.4	2,191.0	—	—	—	—
平均等	16.8	39.9	-5.4	1,940.6	177.2	0.0	—	—

(資料:平成24年度 都市計画基礎調査)

平成 23 年における平均気温は 16.7℃であり、最高気温は 9 月の 35.7℃、最低気温は 1 月の -4.4℃です。

降雨量は、3 月と 6、7 月に集中していることがわかります。



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-2-2 平均気温と降水量の変化(平成 23 年)

表 2-2-2 月別気象概況(平成 23 年)

月	気温(°C)			降水量(mm)	
	平均	最高	最低	総量	降雪量
1月	5.9	19.2	-4.4	51.5	0.0
2月	7.9	21.1	-2.4	198.0	0.0
3月	10.7	23.1	-0.7	302.0	0.0
4月	13.4	24.5	4.2	185.5	0.0
5月	18.1	27.0	7.7	153.5	0.0
6月	22.9	33.7	13.1	306.5	0.0
7月	26.7	34.4	20.5	290.0	0.0
8月	28.1	35.4	22.8	100.0	0.0
9月	25.3	35.7	16.1	205.5	0.0
10月	19.8	28.1	11.9	157.5	0.0
11月	12.8	21.5	3.3	105.0	0.0
12月	9.0	19.8	0.6	136.0	0.0
平均等	16.7	35.7	-4.4	2,191.0	0.0

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

(2) 緑の現況量

本市の都市計画区域全体の緑被面積は約 14,700ha、緑被率^(※)は 69.6%です。(平成 24 年度都市計画基礎調査)

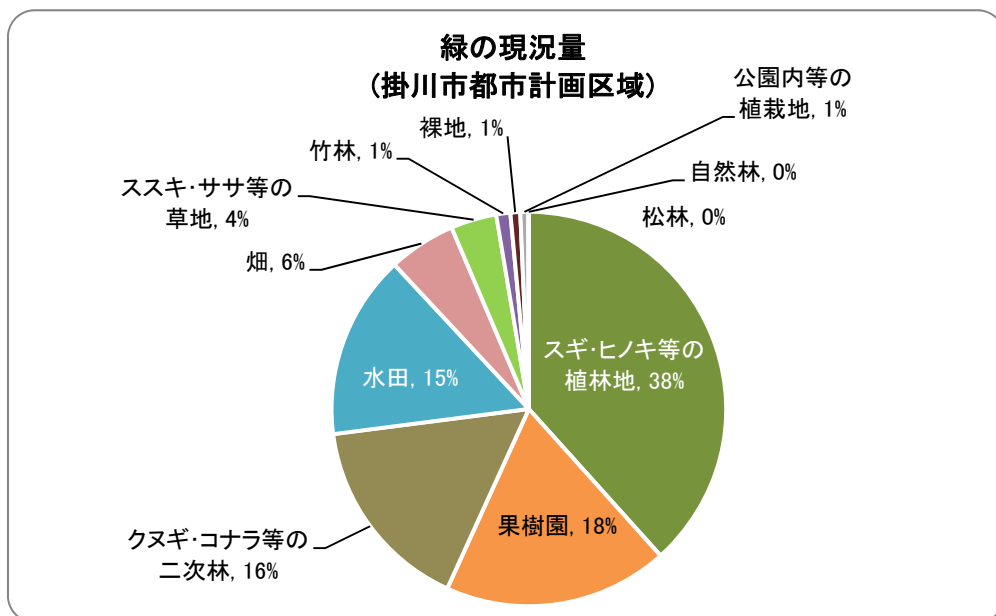
また、用途地域内の緑被面積は約 460ha、緑被率は 18.7%となっており、高い数値にありますが、その約半数は水田、畑等の農地であり、樹林地が少ないのが現状です。

表 2-2-3 緑の現況量

区分	用途地域(ha)		都市計画区域(ha)	
自然林	0.0	(0%)	2.0	(0%)
スギ・ヒノキ等の植林地	47.0	(10%)	5,650.8	(38%)
クヌギ・コナラ等の二次林	55.1	(12%)	2,383.2	(16%)
松林	0.0	(0%)	0.3	(0%)
竹林	7.7	(2%)	169.6	(1%)
ススキ・ササ等の草地	19.1	(4%)	552.5	(4%)
水田	166.1	(36%)	2,225.2	(15%)
畑	66.0	(14%)	815.2	(6%)
果樹園	89.5	(20%)	2,717.1	(18%)
裸地	0.8	(0%)	118.7	(1%)
公園内等の植栽地	7.1	(2%)	99.9	(1%)
合計	458.4	(100%)	14,734.5	(100%)
区域面積(ha)	2,450.9		21,164.0	
緑被率		18.7%		69.6%

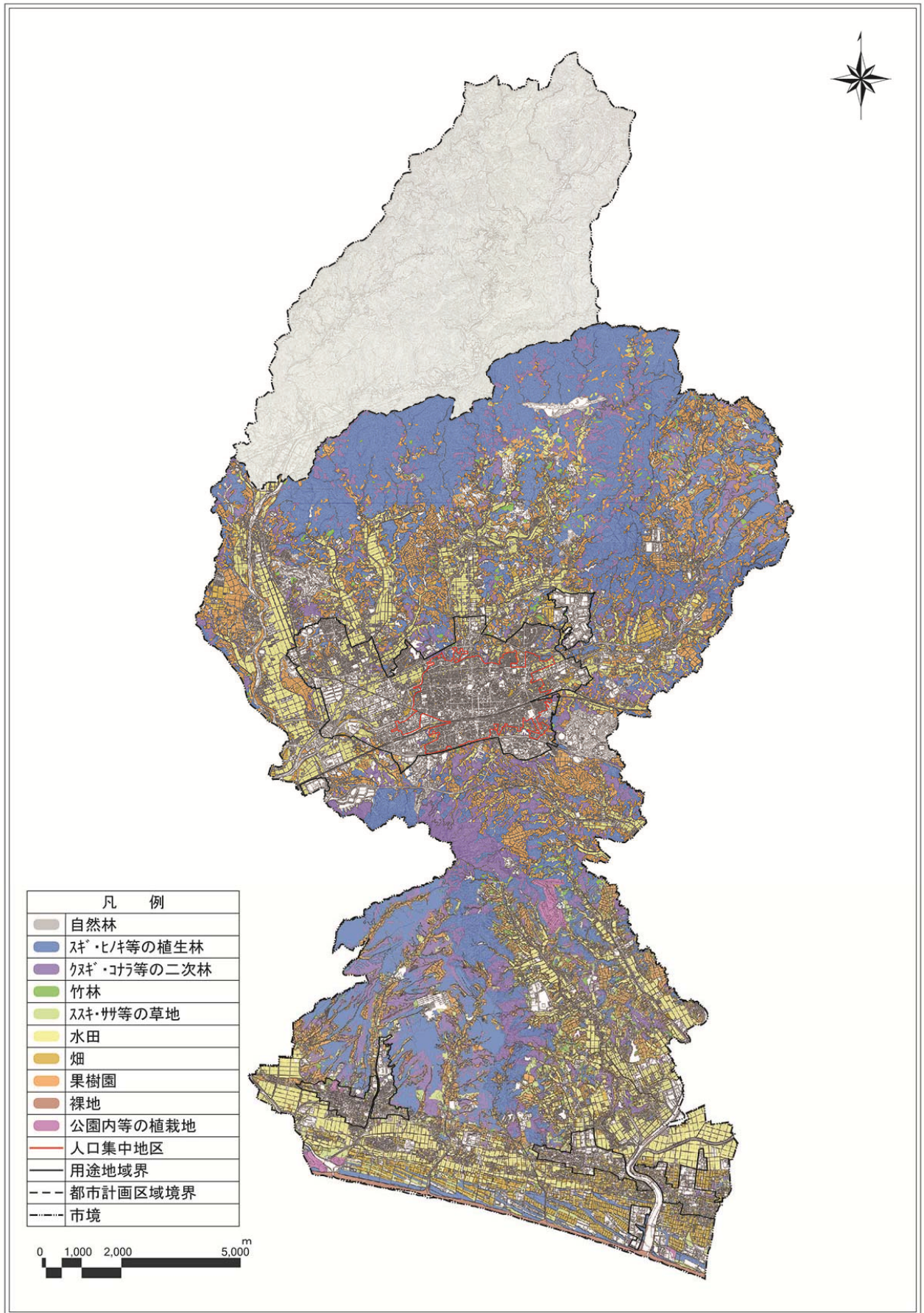
※緑被率＝一定の地域で、樹林・草地、農地、園地などの緑で覆われる土地の面積割合のこと

(資料：平成 24 年度 都市計画基礎調査)



(資料：平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-2-3 緑の現況量(都市計画区域内)



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-2-4 植生現況図

(3) 地形及び水系調査

① 地形

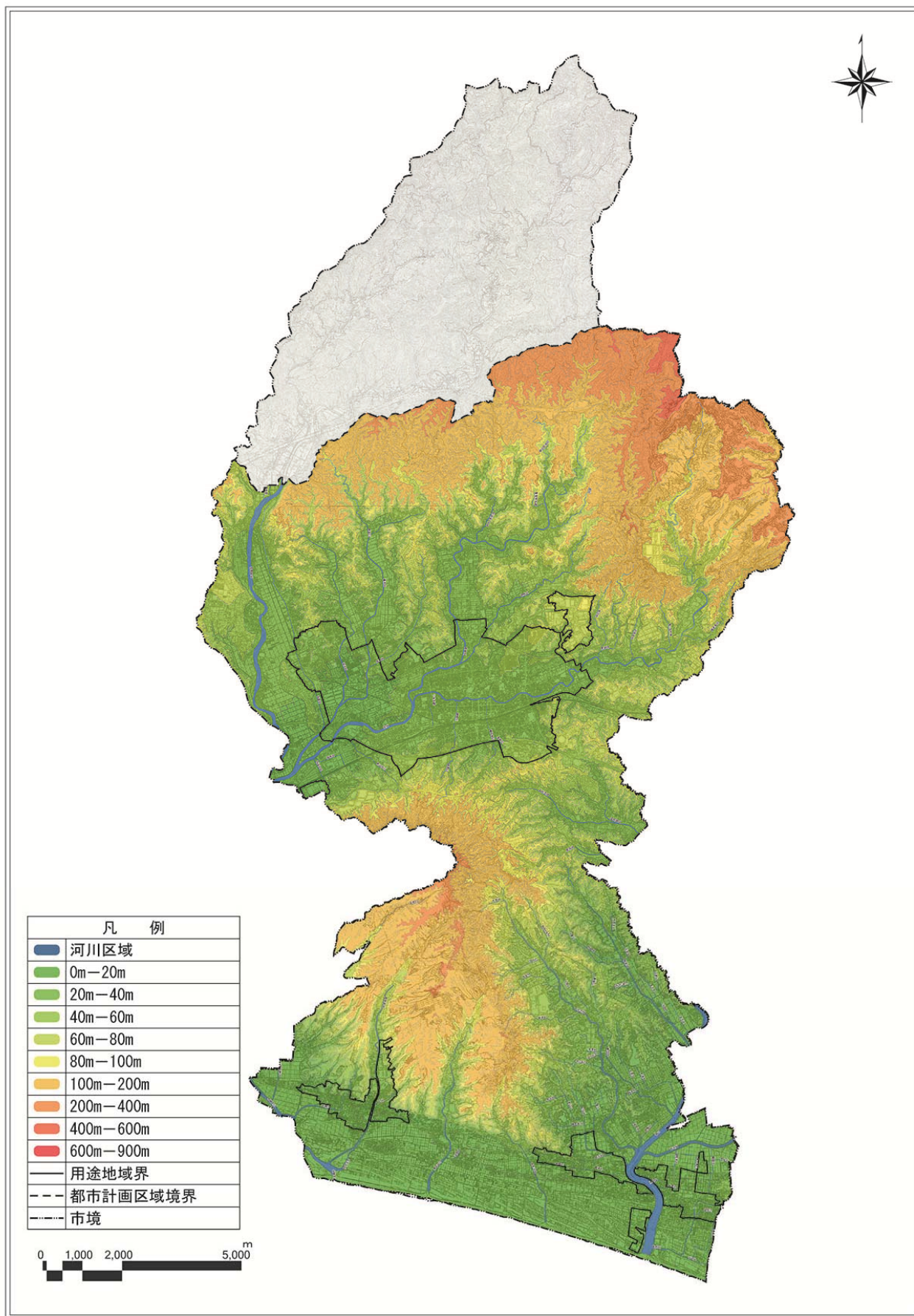
本市北部には、南アルプス最南端の山地である標高 832m の八高山をはじめ、532m の粟ヶ岳などの緑豊かな山林が広がっており、美しい自然資源が数多く残されています。また、本市中央部には、なだらかな小笠山（標高 265m）や三ツ峰（標高 215m）を山頂とした丘陵地が位置しており、豊かな自然が残されています。南部には、遠州灘海岸があり東西約 10km にわたる直線的な美しい砂浜が続いています。平野部では本市中央部や南部に市街地が形成され、その周辺には、水田や海岸砂地畑、また茶畑が広がっており、このうち、特に水田や茶畑は、四季の営みを感じさせる田園風景や茶園風景を創り出しています。

② 河川

本市には非常に多くの河川があり、それらの大部分は太田川水系、菊川水系及び弁財天川水系の 3 水系に分類されます。太田川水系の河川としては、原野谷川や逆川をはじめ、家代川、垂木川、倉真川、初馬川などがあり、これらは本市の西側に隣接する袋井市で太田川に合流し、太平洋に注いでいます。菊川水系の河川としては、牛淵川や佐東川、下小笠川などがあり、これらは本市の東側に隣接する菊川市と本市の行政界付近で菊川に合流し、太平洋に注いでいます。また、弁財天川水系の河川としては、西大谷池から流れる西大谷川をはじめ、大須賀新川や下紙川などがあり、これらは弁財天川の下流部で合流し、太平洋に注いでいます。

③ ため地

本市は古くから、ため池文化が提唱されるほどため池が多く、大小あわせて 300 近くのため池があります。営農環境の改善・向上を中心として市の発展にため池が大きな役割を果たしてきました。農業用水の整備が進んだ現在においては、本来の役割を終えたため池が親水公園等に再整備され、また一部のため池では珍しい水生植物をみることができ、大池公園等においては、都市の身近な憩いの場・レクリエーションの場として多くの市民に利用されています。



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-2-5 地形及び水系図

2-3 社会的条件調査

(1) 人口総数・面積

本市の人口は、平成 17 年まで増加傾向を示していましたが、平成 22 年現在で 116,363 人と平成 17 年人口の約 0.99 倍になり、ここ数年減少傾向にあります。昭和 60 年人口からは約 1.16 倍となっています。このうち約 98%にあたる 114,078 人が都市計画区域内の人口です。

また、本市の人口の約 53%にあたる 61,456 人が用途地域内の人口であり、このうち人口集中地区が 29,866 人と用途地域内人口の約 49%を占めています。

本市全体における平成 17 年～平成 22 年間の減少人口は 1,494 人ですが、用途地域内では 597 人増加しており、このことから本市の増加人口の大半は用途地域内にあり、本市の人口集積に偏りがみられることがわかります。

一方、本市の面積についてみると、都市計画区域面積は平成 22 年現在で 21,164.0ha であり、市町村合併を除きここ数年面積の変更はありません。また、用途地域面積は同年現在で約 2,450ha となっており、平成 2 年の約 2,130ha からは約 320ha の増加、約 1.15 倍の拡大となります。

表 2-3-1 区域別人口と伸び率

区域	昭和 60 年		平成 2 年		平成 7 年	
	人口 (人)	伸び率	人口 (人)	伸び率	人口 (人)	伸び率
行政区域	99,974	—	105,030	1.05	109,978	1.05
都市計画区域	96,924	—	102,080	1.05	107,504	1.05
用途地域	47,033	—	51,570	1.10	55,218	1.07
人口集中地区	19,262	—	22,629	1.17	25,953	1.15
区域	平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年	
	人口 (人)	伸び率	人口 (人)	伸び率	人口 (人)	伸び率
行政区域	114,325	1.04	117,857	1.03	116,363	0.99
都市計画区域	111,693	1.04	115,406	1.03	114,078	0.99
用途地域	57,719	1.05	60,859	1.05	61,456	1.01
人口集中地区	27,102	1.04	28,297	1.04	29,866	1.06

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

表 2-3-2 区域別面積

単位:ha

区域	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
都市計画区域	21,164.0	21,164.0	21,164.0	21,164.0	21,164.0
用途地域	2,129.3	2,451.7	2,453.4	2,453.4	2,450.9

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

(2) 年齢別・性別人口

平成22年度における本市の年齢別・性別人口をみると、男女ともに50代後半から60代前半の占める割合が最も高くなっています。

また、昭和60年度における年齢別・性別人口と比較すると、大幅に60代以上の人口が増加しており、全国的な傾向と同じく高齢化が進行しています。

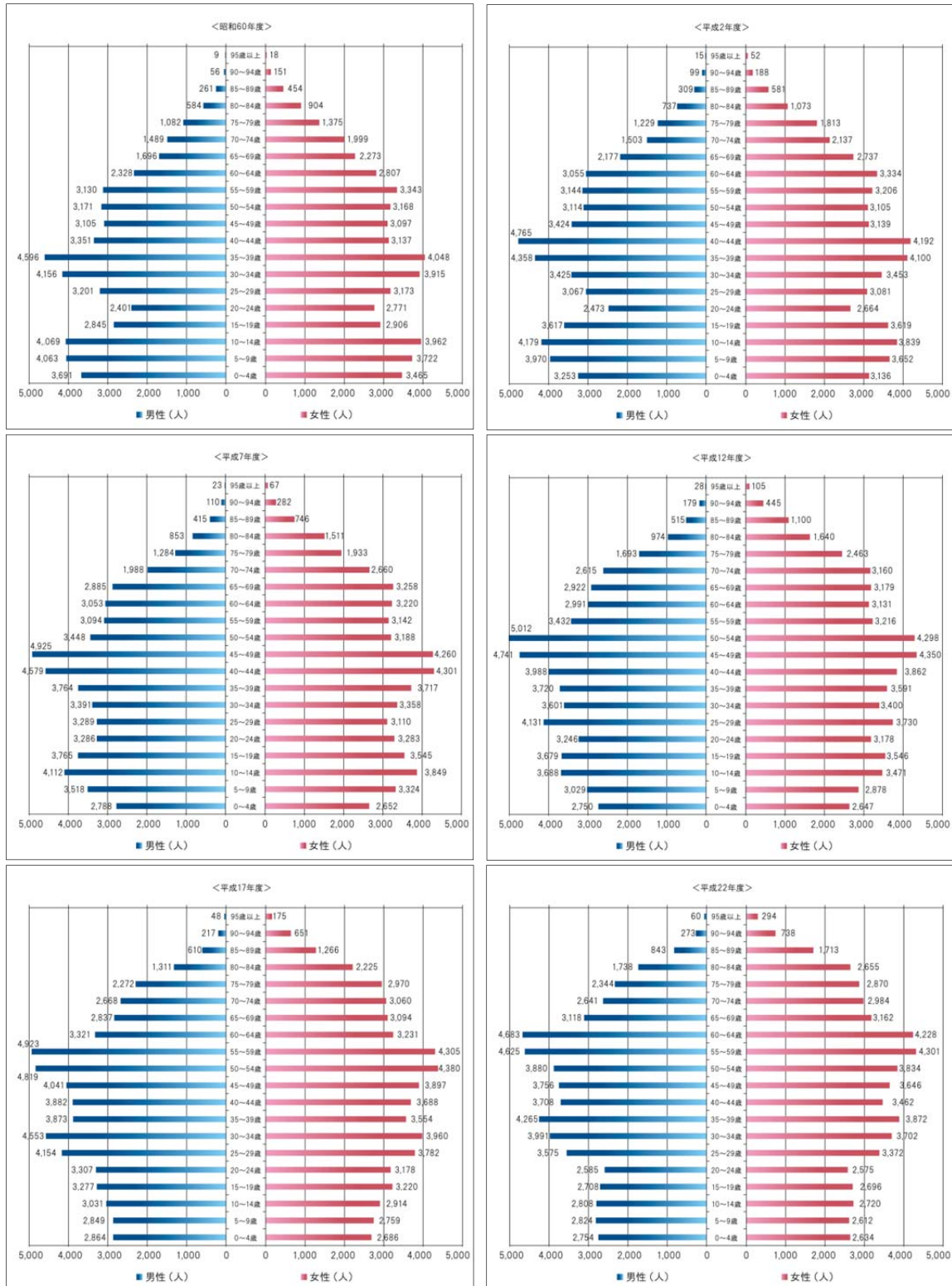


図 2-3-1 年齢別・性別人口

(3) 土地利用現況

本市の土地利用状況をみると、自然的土地利用は都市計画区域全体で約 15,600ha であり、そのうち約 96.4%にあたる約 15,000ha が用途地域外に位置しています。

また、用途地域内での自然的土地利用は約 570ha と用途地域面積 (2,450.9ha) の約 23.1% となっており、その内訳は田・畑が約 320ha と農耕地利用が過半を占めています。

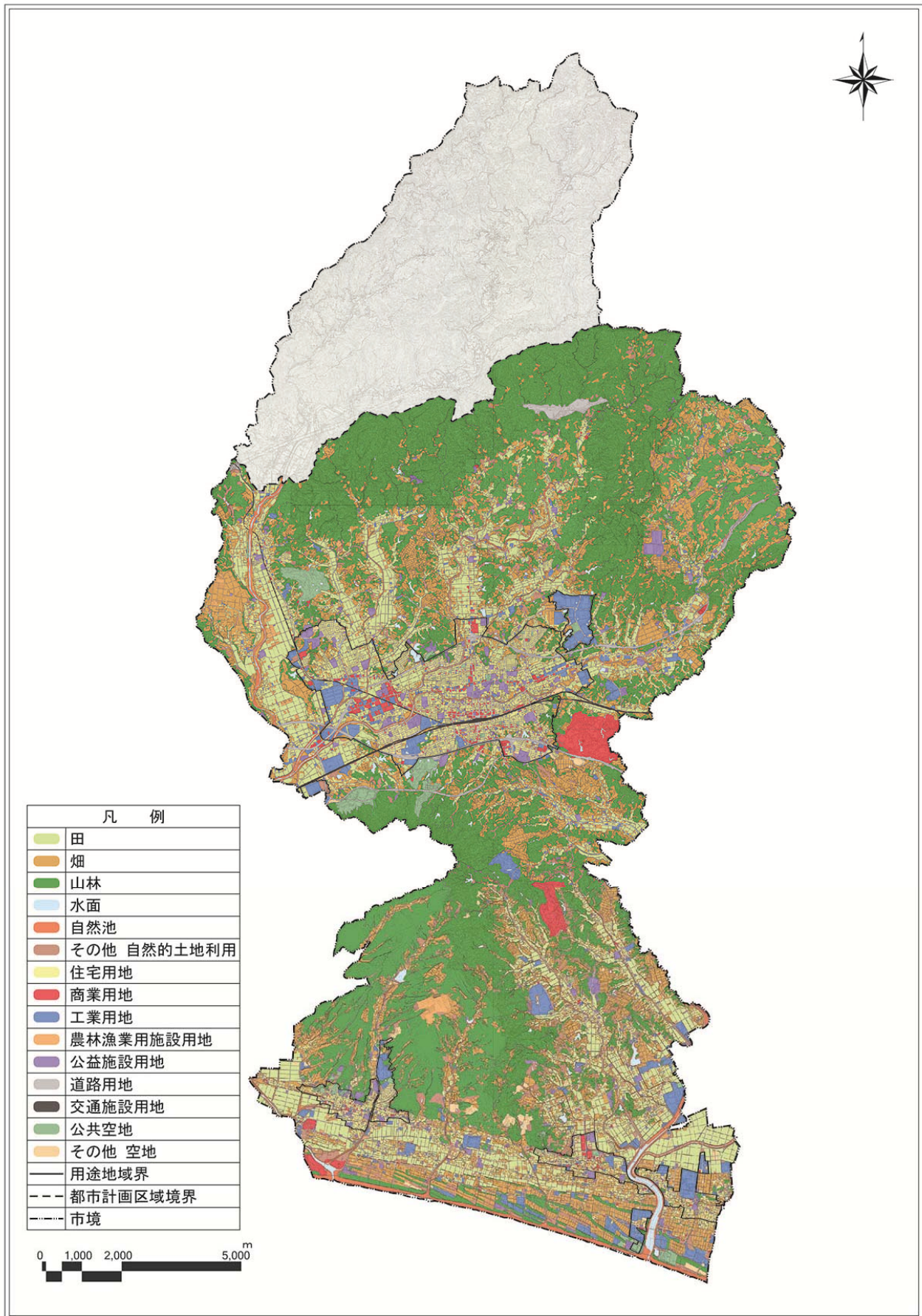
一方、用途地域外では約 15,000ha が自然的土地利用であり、用途地域外面積 (18,713.1ha) の約 80.1%となります。自然的土地利用の内訳としては、山林が約 8,100ha と最も多く、過半を占めています。

表 2-3-3 土地利用現況面積

土地利用区分		用途地域(ha)		用途地域外(ha)		都市計画区域(ha)		
自然的 土地 利用	田	166.1	(7%)	2,059.1	(11%)	2,225.2	(11%)	
	畑	155.5	(6%)	3,376.8	(18%)	3,532.3	(17%)	
	山林	109.8	(4%)	8,096.1	(43%)	8,205.9	(39%)	
	水面	46.7	(2%)	347.4	(2%)	394.1	(2%)	
	その他自然地	87.2	(4%)	1,108.4	(6%)	1,195.6	(6%)	
小計(a)		565.3	(23%)	14,987.8	(80%)	15,553.1	(73%)	
都市的 土地 利用	宅 地	住宅用地	696.4	(28%)	995.3	(5%)	1,691.7	(8%)
		商業用地	128.9	(5%)	265.4	(1%)	394.3	(2%)
		工業用地	364.2	(15%)	460.3	(2%)	824.5	(4%)
		農林漁業施設用地	4.3	(0%)	239.9	(1%)	244.2	(1%)
	公共公益用地	214.1	(9%)	428.1	(2%)	642.2	(3%)	
	道路用地	385.4	(16%)	1,151.6	(6%)	1,537.0	(7%)	
	交通施設用地	28.3	(1%)	24.7	(0%)	53.0	(0%)	
	その他公的施設用地	0.0	(0%)	0.0	(0%)	0.0	(0%)	
	その他の空地	64.0	(3%)	160.0	(1%)	224.0	(1%)	
小計(b)		1,885.6	(77%)	3,725.3	(20%)	5,610.9	(27%)	
合計(a+b)		2,450.9	(100%)	18,713.1	(100%)	21,164.0	(100%)	

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

※表中()内の割合は、合計値に対する割合を四捨五入し、整数値で表示しています。



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-3-2 土地利用現況図

(4) 都市施設

① 道路網

本市の道路網は、市中央部を東西に横断する東名高速道路及び国道 1 号を中心に北部には新東名高速道路、南部には国道 150 号と東西 4 路線を基軸に形成されています。

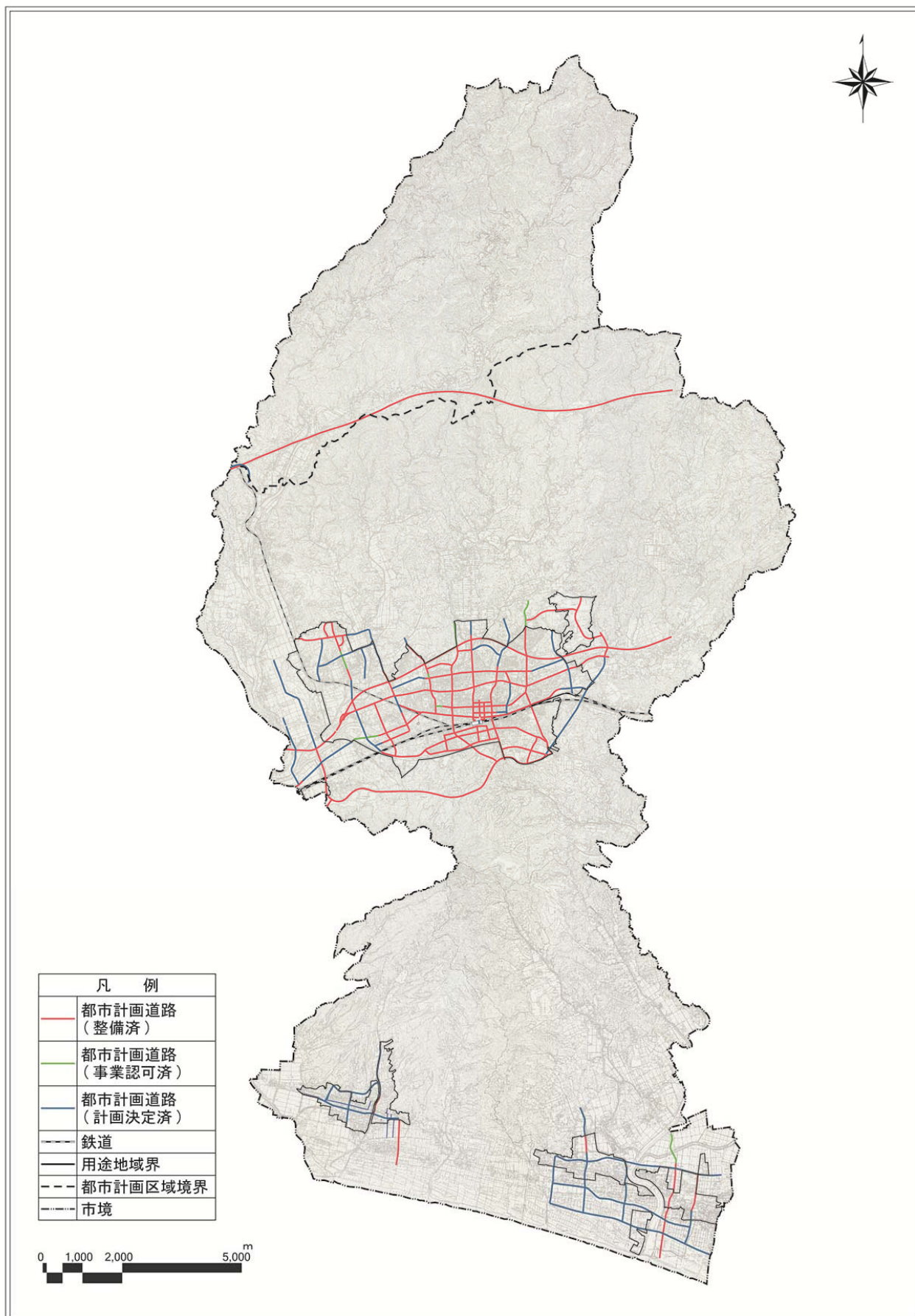
広域交通・市内交通・生活交通等、交通特性に応じた段階的な道路網形成を目指しています。

② 鉄道

本市の鉄道は、JR 東海道新幹線、JR 東海道線が市南部を東西に、天竜浜名湖鉄道が市中心部より森町方面へ敷設されています。

市内には JR 線の 1 駅、天竜浜名湖線の 7 駅を有しており、掛川駅（JR 線・天竜浜名湖線）が主要な駅として機能しています。

また、掛川駅の南北には、掛川駅八景の一つとなる緑豊かな駅前広場があり、市民や来訪者にうるおいを与える施設となります。



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-3-3 都市施設図

(5) 市街地開発事業等

本市の土地区画整理事業は、昭和 35 年に事業を開始した掛川第一土地区画整理事業をはじめとして 27 ヶ所の事業があり、平成 26 年 4 月 1 日現在で十九首・小鷹町地区沿道整備土地区画整理を除き、26 ヶ所の事業が完了しています。宅地造成事業として県施工の掛川第 2 団地、工業団地造成事業として東部工業団地、市街地再開発事業として連雀南地区があり、いずれも事業は完了しています。

一方、本市の地区計画は 13 地区で約 350ha が計画決定されています。これは、市街地整備上の諸問題を補うために、地区レベルで良好な住環境を創出し、まちづくりを行うためのものです。

表 2-3-4 宅地開発等の状況

番号	事業名	施工者	事業面積(ha)	施工年度・事業期間	
土地区画整理事業					
1	掛川第一土地区画整理	公共団体	23.4	S35～S44	
2	掛川第二土地区画整理		12.0	S42～S50	
3	掛川駅前土地区画整理		15.4	S48～H2	
4	掛川駅北土地区画整理		13.9	S58～H10	
5	宮脇第一土地区画整理		23.3	H5～H24	
6	上張土地区画整理	組合	22.1	S42～S46	
7	下西郷土地区画整理		49.8	S44～S50	
8	花崎土地区画整理		3.0	S46～S48	
9	七日新田土地区画整理		8.9	S47～S50	
10	金城土地区画整理		6.2	S48～S50	
11	大多郎土地区画整理		7.2	S49～S52	
12	山麓土地区画整理		7.1	S50～S53	
13	掛川駅南土地区画整理		94.2	S50～S63	
14	谷の口土地区画整理		2.7	S52～S55	
15	西大淵土地区画整理		5.2	S53～S56	
16	杉谷葛川土地区画整理		21.5	S58～S63	
17	東部工業団地土地区画整理		95.8	S62～H3	
18	宮脇桑原土地区画整理		2.1	H2～H5	
19	水垂第一土地区画整理		13.9	S61～H7	
20	家代土地区画整理		34.4	S63～H14	
21	長谷土地区画整理		63.9	H4～H17	
22	上屋敷・西郷土地区画整理		38.7	H4～H18	
23	東名掛川IC周辺土地区画整理		62.1	H5～H18	
24	洋望台土地区画整理		16.7	H7～H25	
25	二瀬川第一地区沿道整備土地区画整理		個人	0.4	H16～H18
26	二瀬川第二地区沿道整備土地区画整理			0.7	H19～H23
27	十九首・小鷹町地区沿道整備土地区画整理			0.5	H24～H28
宅地造成					
	掛川第 2 団地	県	2.96	S47～S61	
工業団地造成事業					
	東部工業団地	組合	9.58	S62～H3	
市街地再開発事業					
	連雀南地区	個人	0.02	H6～H8	

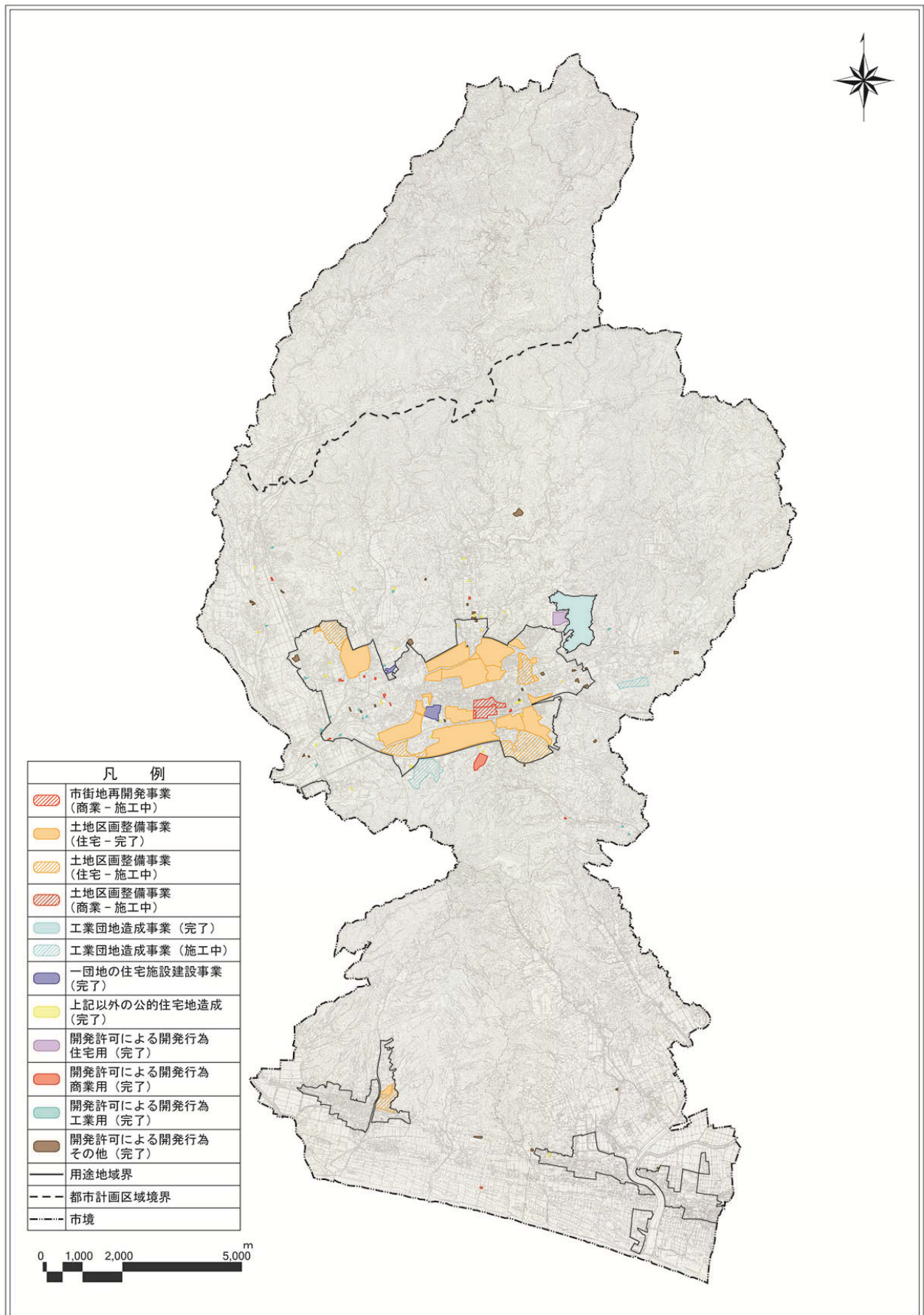
※土地区画整理事業は平成 26 年 4 月 1 日現在

(資料)土地区画整理事業:掛川市土木課、その他:平成 24 年度 都市計画基礎調査

表 2-3-5 地区計画

番号	事業名	指定年月日		面積(ha)
		当初	最終	
a	秋葉路	H4.3.18	H7.8.1	14.3
b	長谷	H4.7.14	H7.8.1	75.5
c	富部細谷	H4.7.14	H7.8.1	9.7
d	オレゴンビレッジ	H7.8.1	—	1.2
e	鳥居町国道沿道	H7.8.1	—	5.3
f	家代	H4.7.14	—	32.5
g	城下町風街づくり	H6.7.1	—	41.4
h	上屋敷西郷	H8.8.5	—	34.9
i	西郷インター周辺	H10.6.8	H13.5.17	11.7
j	東名掛川 I.C.周辺	H12.8.9	—	61.8
k	宮脇第一	H12.8.9	—	22.5
l	洋望台	H9.6.27	H20.2.8	16.7
m	大坂	H11.11.02	—	19.1
計				346.6

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-3-4 市街地開発事業

(6) 災害及び水害発生状況

本市の災害及び水害は以下に示すとおりであり、昭和 57 年に大きな被害がありました。近年では、平成 16 年 10 月 9 日に発生しています。

表 2-3-6 水害被害調書

番号	発生年月日	浸水面積(ha)	備考
1	S57.09.10	田・畑 485.9 (流出・埋没を含む)	建物被害 床上浸水:9,911 棟 床下浸水:1,441 棟
2	H16.10.9	39.6	
3	H16.11.11	1.0	
4	H16.11.11	0.7	

(資料:掛川市資料、平成 24 年度 都市計画基礎調査)

表 2-3-7 がけくずれ、地すべり発生状況調書

番号	発生年月日	被害面積(ha)	備考
1	H16.10.9	—	77ヶ所
2	H16.11.11	—	44ヶ所
3	H22	—	15ヶ所
4	H23	—	40ヶ所 台風 12 号、15 号等による

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

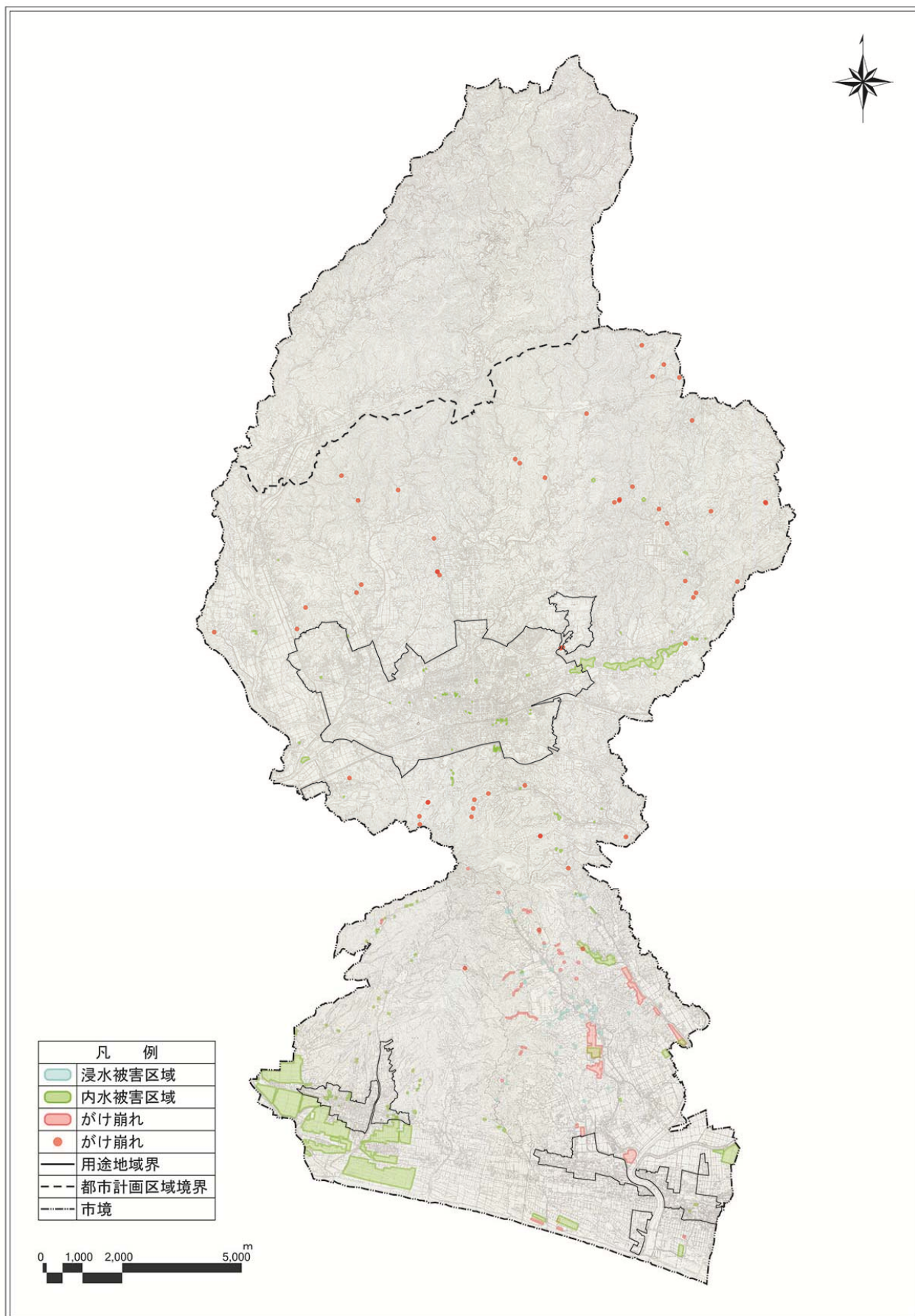
(7) 国公有地現況

本市における国公有地の状況を以下に示します。

表 2-3-8 国公有地現況

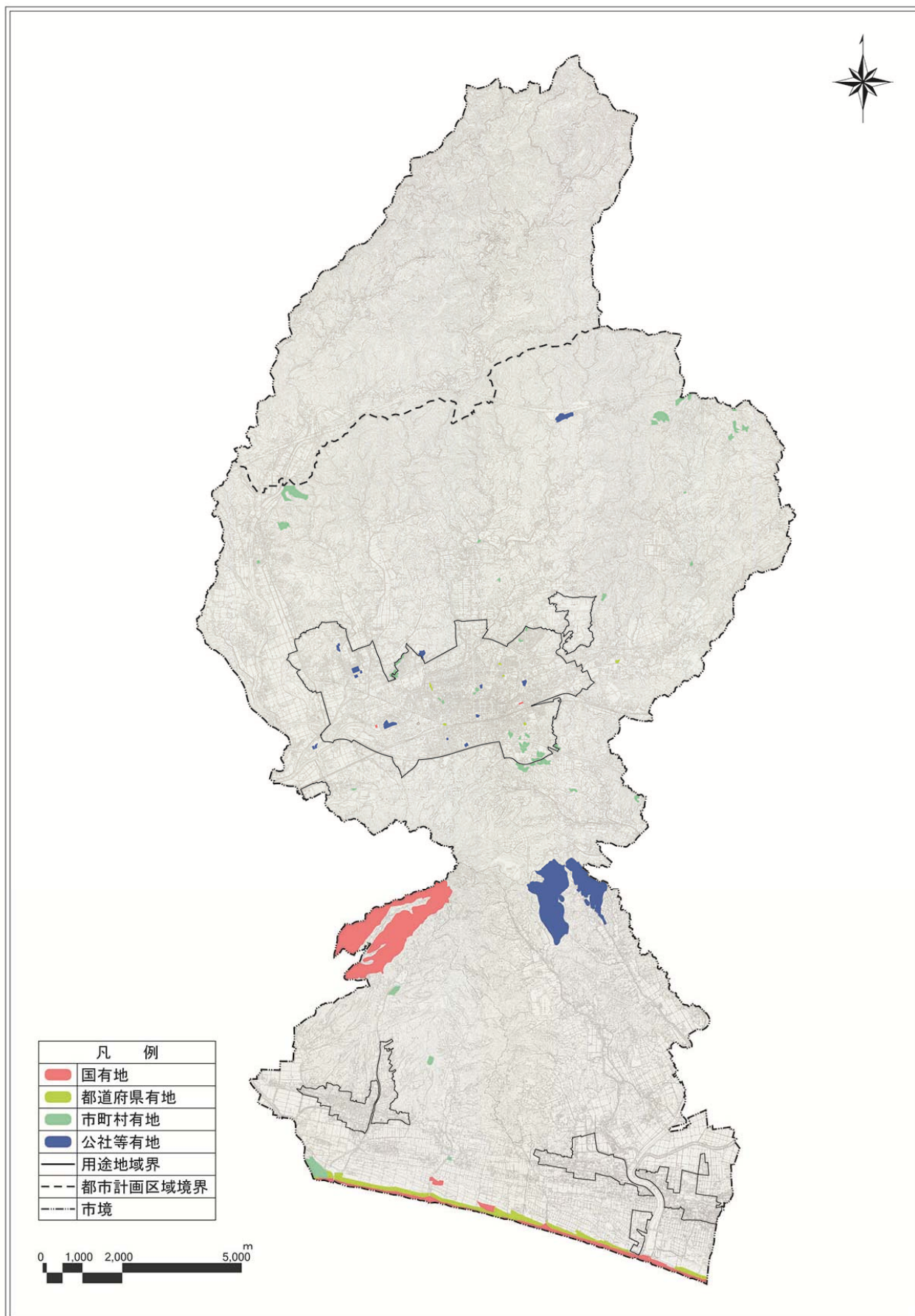
番号	所有区分	面積(ha)	利用状況
1	掛川市	24.9	山林
2	国	340.2	森林、海岸等
3	静岡県	75.7	保安林、森林等
4	掛川市	11.0	保安林等
5	財産区	96.1	ミオスカントリークラブ、山林等

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-3-5 災害発生ヶ所

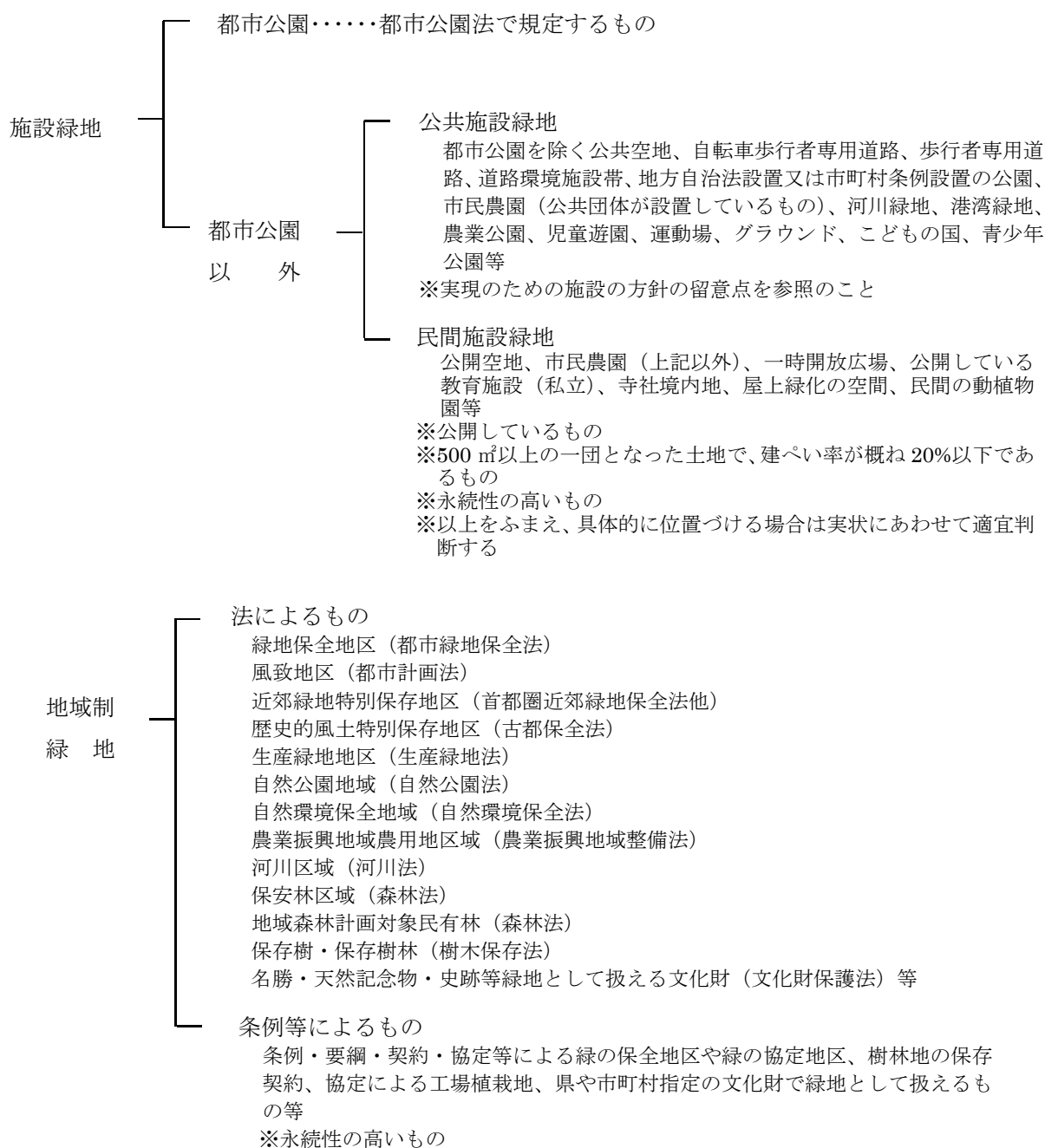


(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-3-6 国公有地現況

2-4 緑地現況・緑化状況

緑の基本計画が対象とする「緑地^(※)」は下記に示すようなものが制度的に該当します。



- ・ 公共施設緑地：都市公園以外の公有地、又は公的な管理で公園緑地に準ずる機能を持つ施設
- ・ 民間施設緑地：民有地で公園緑地に準ずる機能を持つ施設

出典：緑の基本計画ハンドブック 日本公園緑地協会

※緑地＝樹林地、草地、水辺地、岩石地若しくはその状況がこれらに類する土地が、単独で若しくは一体となって、又はこれらに隣接している土地が、これらと一体となって、良好な自然環境を形成しているもの（都市緑地保全法第2条の2）

(1) 緑地現況調査

① 緑地現況量

掛川市の緑地^(※)は、市全域で約 16,500ha となり市域 (26,563ha) の 62.1%、市民一人当たり面積は約 1,400 m²となります。

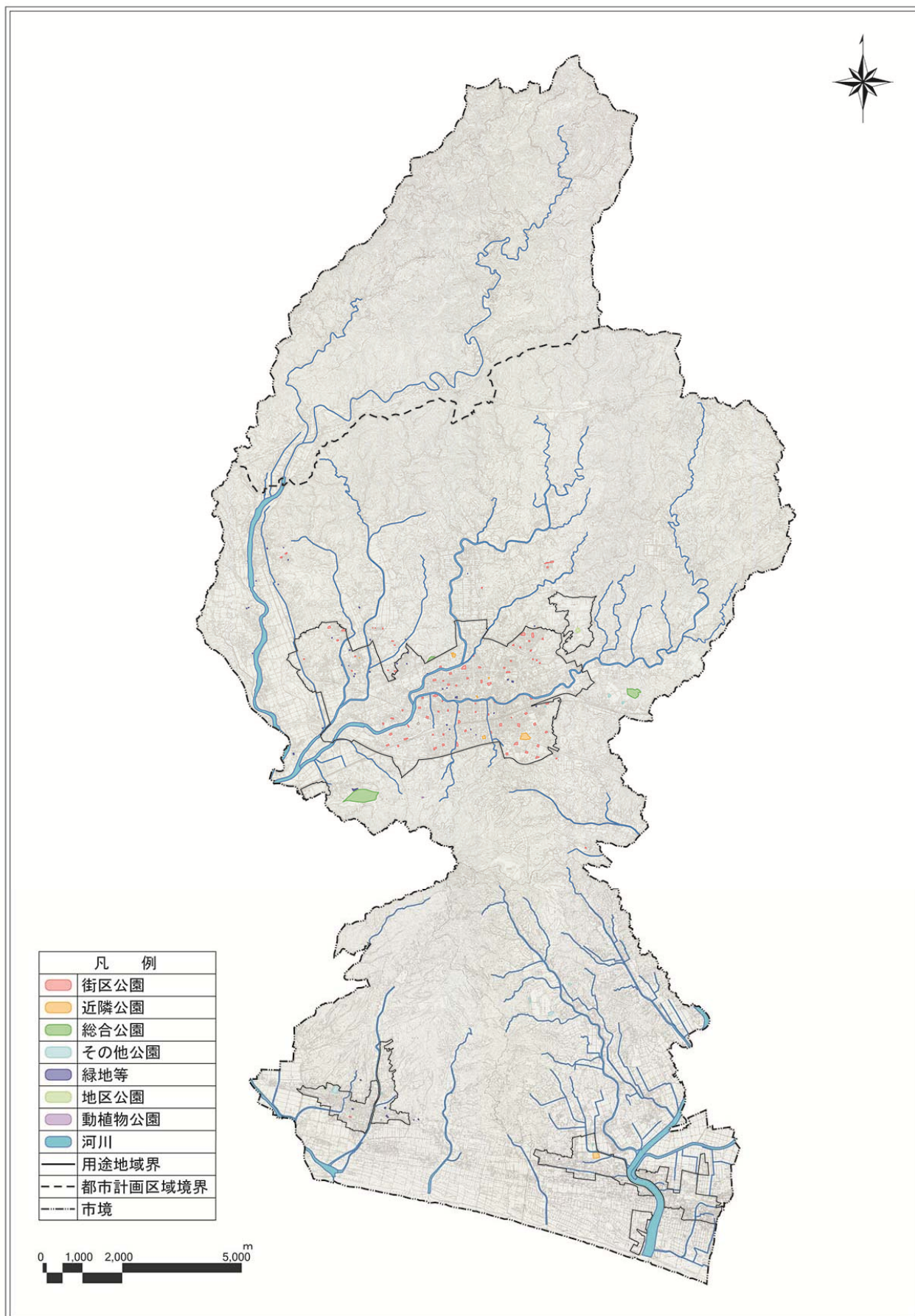
そのうち 10,722.00ha が地域森林計画対象民有林で最も多く、保安林区域、国有林区域、河川区域、農用地区域、ため池、海岸保全地域、自然公園、工場緑化、緑地協定と合わせ、約 15,500ha を占めています (地域制緑地)。

また、都市公園と公共施設の緑地が 355.61ha、民間施設の緑地が 619.32ha で、合わせて 974.93ha となります (施設緑地)。

表 2-4-1 緑地の状況

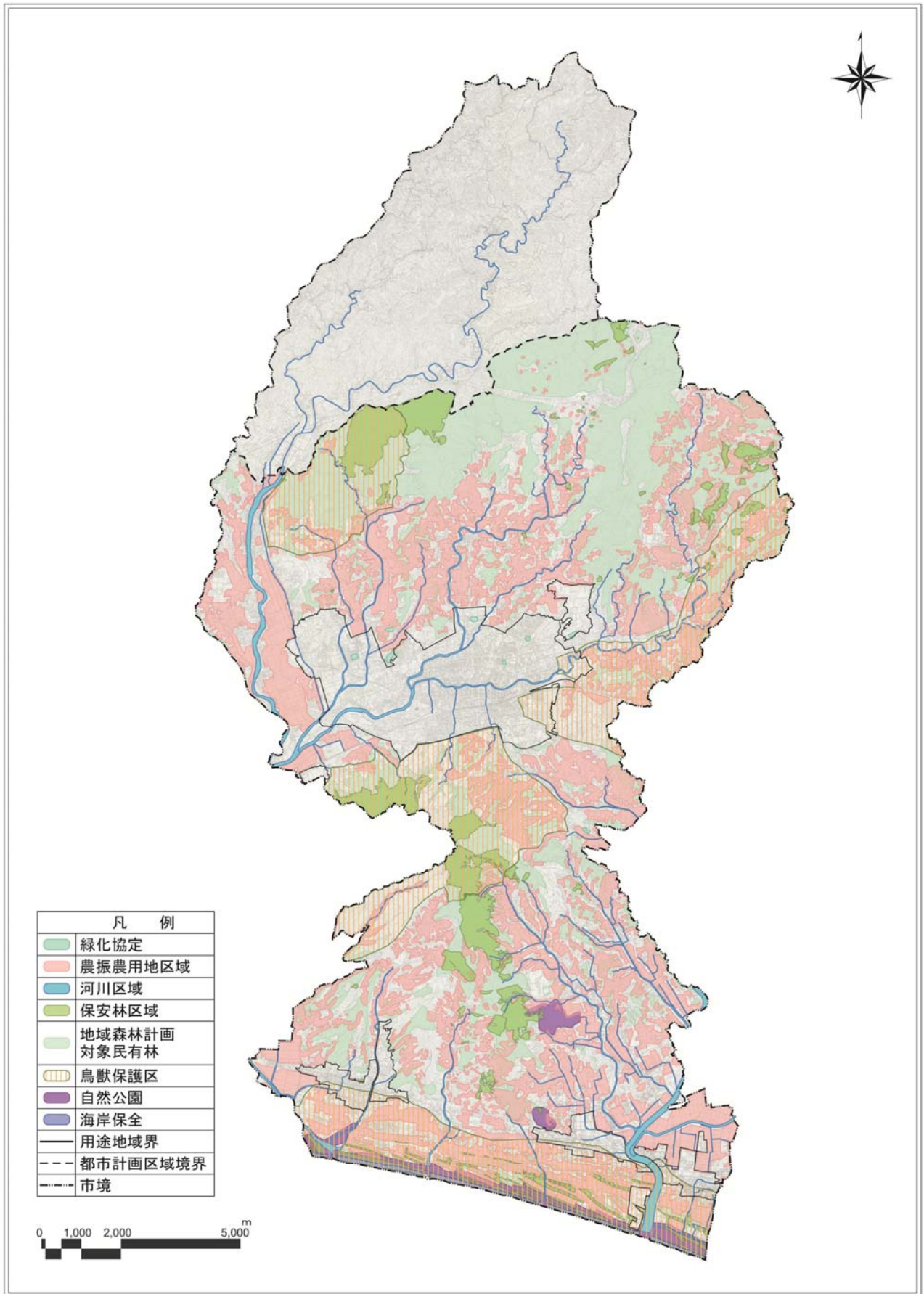
緑地種別		現況(平成 24 年)		出典	
		整備面積 (ha)	※本市の 1 人当たりの 整備面積 (m ² /人)		
施設 緑地	都市公園	175.37	15.07		
	公共施設緑地	180.24	15.49		
	民間施設緑地	619.32	53.22		
施設緑地計		974.93	83.78		
地域 制 緑 地	法 に よ る も の	地域森林計画対象民有林	10,722.00	921.43	平成 24 年度都市計画基礎調査
		保安林区域	1,949.26	167.52	平成 24 年度都市計画基礎調査
		国有林区域	472.41	40.60	行政区域面積:平成 24 年度静岡県森林・林業統計要覧、 都計区域内面積:平成 24 年度都市計画基礎調査
		河川区域	576.32	49.53	平成 24 年度都市計画基礎調査
		農用地区域	4,970.39	427.15	平成 24 年度都市計画基礎調査
		ため池	84.36	7.25	掛川市役所農林課
		風致地区	0.00	0.00	
		自然環境保全地域	0.00	0.00	
		海岸保全地域	129.00	11.09	平成 24 年度都市計画基礎調査
		自然公園	418.30	35.95	平成 24 年度都市計画基礎調査
		工場緑化	123.76	10.64	掛川市役所商工観光課
		その他法によるもの	0.00	0.00	
		緑地協定	18.74	1.61	掛川市役所地域支援課みどり推進室
		条例等によるもの	0.00	0.00	
地域制緑地間の重複	3,952.78	339.69	図測		
地域制緑地計		15,511.76	1,333.05		
施設・地域制緑地間の重複		0.75	0.06		
合計		16,485.95	1,416.77		

※本市の 1 人当たりの整備面積(m²/人)=整備面積(ha)÷掛川市の人口(116,363 人)



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-4-1 緑地現況図



(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

図 2-4-2 地域制緑地現況図

②施設緑地の状況

a. 都市公園の状況

本市の都市公園の整備現況は、市全域で93ヶ所、整備面積約180haとなっており、一人当たり面積は15.07㎡となります。種別毎の整備状況は、住区基幹公園では計88ヶ所、面積で約34haが整備され、一人当たりの面積は2.93㎡となります。

都市基幹公園は、総合公園が2ヶ所、面積で22haが整備され、一人当たりの面積は1.89㎡となります。

また、都市公園を補完するグラウンド、農村広場等の公共施設緑地を含めると、全体の整備量は約360haであり、1人当たりの面積は30.56㎡です。

【資料編:表1-1,表1-2参照】

表 2-4-2 都市公園等の整備状況

公園種別		現況(平成24年)			1人当たりの整備面積の長期目標(㎡/人)
		整備ヶ所数	整備面積(ha)	※1)本市の1人当たりの整備面積(㎡/人)	
住区基幹公園	街区公園	82	17.13	1.47	
	近隣公園	5	12.03	1.03	
	地区公園	1	4.89	0.42	
住区基幹公園計		88	34.05	2.93	
都市基幹公園	総合公園	2	22.00	1.89	
	運動公園	—	—	—	
都市基幹公園計		2	22.00	1.89	
特殊公園	動植物公園	1	12.51	1.08	
	墓園	1	9.00	0.77	
大規模公園	広域公園	1	97.81	8.41	
	国営公園	—	—	—	
特殊公園・大規模公園計		3	119.32	10.26	
都市公園計		93	175.37	15.07	
公共施設緑地		135	180.24	15.49	
合計		228	355.61	30.56	

(資料:平成24年度都市計画基礎調査等)

※1)本市の1人当たりの整備面積(㎡/人)=整備面積(ha)÷掛川市の人口(116,363人)

b. 公共施設緑地の状況

公共施設緑地は 83 ヶ所約 180ha であり、そのうち用途地域内が約 90ha を占めます。

また、学校グラウンド及びスポーツ・レクリエーション施設を除くと、大半が 1ha 未満の面積です。

【資料編:表 2-1 参照】

c. 民間施設緑地の状況

民間施設緑地は 319 ヶ所約 620ha となっており、そのほとんどが社寺境内樹林地となります。

【資料編:表 3-1 参照】

(2) 緑化推進に係わる活動状況

①緑化に関する条例等の状況

本市では、緑地協定地区（17 地区）、天然記念物（24 ヶ所）、保存樹林（14 ヶ所）、保存樹（74 本）の指定がなされており、貴重な樹木や樹林地の保護を積極的に進めています。

表 2-4-3 協定・条例等の指定状況

番号	区分	名称	備考
1	緑地協定地区	グリーンスクエア掛川緑地協定	
2	緑地協定地区	サングリーン掛川緑地協定	
3	緑地協定地区	掛川ショッピングセンター オカノ緑地協定	
4	緑地協定地区	松浦梱包輸送(有)緑地協定	
5	緑地協定地区	秋葉路緑地協定	
6	緑地協定地区	茶そば工場緑地協定	
7	緑地協定地区	水垂グリーンビレッジ緑地協定	
8	緑地協定地区	掛川市初馬住宅団地緑地協定	
9	緑地協定地区	三甲(株)東海工場新設緑地協定	
10	緑地協定地区	掛川オレゴンビレッジ緑地協定	
11	緑地協定地区	城南の郷住宅団地緑地協定	
12	緑地協定地区	東高台宅地造成緑地協定	
13	緑地協定地区	タミヤ R&D センター緑地協定	
14	緑地協定地区	カインズホーム掛川店緑地協定	
15	緑地協定地区	下垂木住宅団地緑地協定	
16	緑地協定地区	秋葉路第 2 西緑地協定	
17	緑地協定地区	下垂木多目的広場造成事業	

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査)

表 2-4-4 天然記念物の指定状況

番号	区分	名称	種類・規模等	備考
1	県指定	鳥居スギ	日通り 7m、樹高 30m、枝張り 10m 当山開山の当時に植えられた	顕光寺
2	県指定	峯貝戸の大クワ	樹齢 300 年以上、根廻り 3.7m、樹高 10m	個人
3	県指定	伊達方の大ヒイラギ	樹齢 400 年以上、根廻り 3.3m、樹高 7.9m	個人
4	県指定	阿波々神社の社叢	照葉樹林の林(面積 15,683 m ²)	阿波々神社
5	県指定	中新井池のオニバス	大型の一年生水草 直径 3m くらいまで成長するものもある	財務省
6	県指定	本勝寺マキ・ナギの門	マキ 樹齢 300 年以上、目通り 1.6m、樹高 4.7m ナギ 樹齢 300 年以上、目通り 1.7m、樹高 4.7m	本勝寺
7	市指定	事任八幡宮の大スギ	樹齢 700 年以上、根廻り 11.2m、樹高 36.5m	事任八幡宮
8	市指定	垂木の大スギ	推定樹齢 1,000 年、根廻り 6.7m、樹高 18m	六所神社

表 2-4-5 天然記念物の指定状況 つづき

番号	区分	名称	種類・規模等	備考
9	市指定	事任八幡宮のクスノキ	樹齢 700 年以上、根廻り 19.3m、樹高 31m	事任八幡宮
10	市指定	居尻のイスノキ	樹齢 350 年、根廻り 2.3m、樹高 10m	個人
11	市指定	松葉のカヤ	樹齢 500 年、根廻り 11.7m、樹高 14.5m	個人
12	市指定	久居島のリンボク	推定樹齢 200 年以上、目通り 2.74m、樹高 13m	個人
13	市指定	秋葉路のモッコク	樹齢 800 年以上、目通り 1.8m、樹高 14m	秋葉路区
14	市指定	西大淵大松	古松 2 本 推定樹齢 400 年、目通り 4m の黒松	不明
15	市指定	如意庵のソテツ	根回り 2.8m、地上 0.8m 辺りから 8 本に枝分かれする	龍眠寺
16	市指定	興禅庵マキの自然門	樹齢伝 400 年以上、目通り 1.65m、樹高 4.9m	興禅庵
17	市指定	高天神追手門跡スギ	樹齢 300 年以上、目通り 2.4m、樹高 25m	高天神社
18	市指定	小笠神社参道スギ	樹齢 400 年以上、目通り 4m、樹高 20m	小笠神社
19	市指定	今龍寺イヌマキ 2 本	推定樹齢 400 年	今龍寺
20	市指定	今龍寺ソテツ 2 株	推定樹齢 400 年	今龍寺
21	市指定	春日神社クスノキ	樹齢 400 年以上、樹高 20m	春日神社
22	市指定	満勝寺イチョウ	樹齢 300 年以上、目通り 2.8m、樹高 25m	満勝寺
23	市指定	永福寺イヌマキ	目通り 1.9m、樹高 18m	永福寺
24	市指定	本勝寺カヤ 2 本	樹齢 300 年以上、目通り 2.5m、樹高 30m	本勝寺

(資料:平成 24 年度 都市計画基礎調査、緑の精神回廊計画)

表 2-4-6 保存樹林指定状況

番号	区分	名称	所在地	面積(m ²)
1	市指定	ヒノキ・スギ・クスノキ他	上垂木 1612 ほか	22,000
2	市指定	スダジイ・ヒノキ・イチョウ他	高田 235 ほか	8,000
3	市指定	スギ・ヒノキ・スダジイ他	上垂木 542 ほか	37,000
4	市指定	スダジイ・ヒノキ・スギ他	掛川市平島 892	990
5	市指定	スギ・スダジイ他	上垂木 2207 ほか	13,400
6	市指定	スダジイ・スギ・ヒノキ他	下垂木 4111 ほか	10,000
7	市指定	スギ・ヒノキ	倉真 8395	1,200
8	市指定	スギ・ヒノキ・モミ他	平野 309 ほか	17,000
9	市指定	スギ・カゴノキ・ムクノキ・タブノキ他	上西之谷 415	1,530
10	市指定	スギ・イチョウ・ソテツ・ケヤキ他	岩井寺 32 ほか	4,694
11	市指定	ヒノキ・スダジイ・スギ他	下俣南 745 ほか	2,235
12	市指定	シラカシ・スダジイ・ヒノキ他	上西郷 6067-1	1,000
13	市指定	アカマツ・スギ・ウバメガシ・ヒノキ他	高瀬 1100-103 ほか	5,000
14	市指定	クスノキ・カヤ・イヌマキ・ツブラジイ他	西大淵 5654	20,600

(資料:掛川市地域支援課)

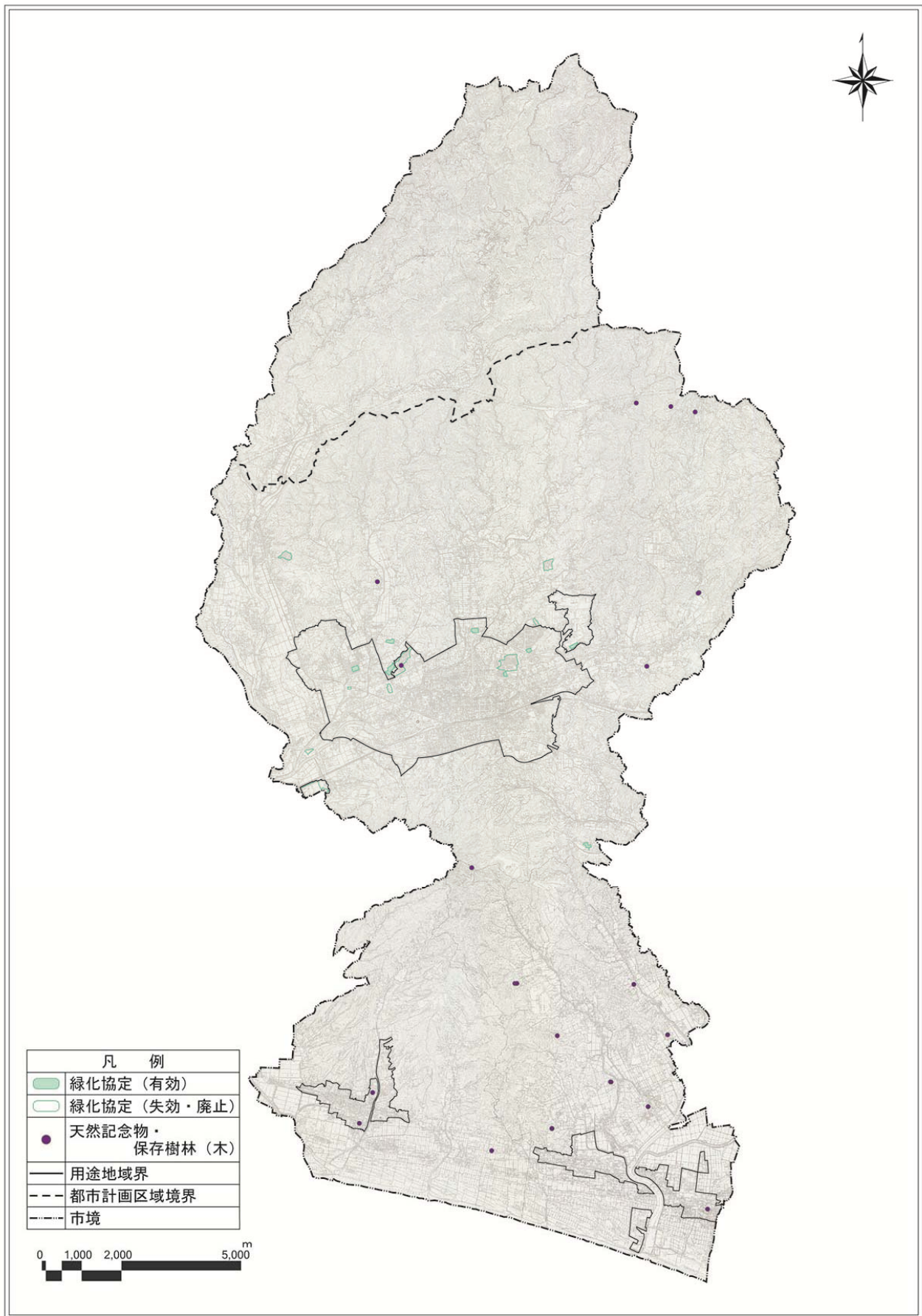
表 2-4-7 保存樹木指定状況

番号	区分	樹種	所在地	幹の周囲 (m)	高さ (m)	備考
1	市指定	ウバメガシ	水垂 971-1	1.87	5.0	
2	市指定	スダジイ	高田 235	5.08	20.0	加茂神社
3	市指定	カヤ	久居島 269	3.54	15.0	久泉寺
4	市指定	イヌマキ	成滝 175	1.96	10.0	
5	市指定	イチヨウ	八坂 643	3.27	26.0	事任八幡宮
6	市指定	アラカン	高御所 1312	3.96	15.5	正法寺
7	市指定	ソメイヨシノ	高御所 1312	2.77	12.0	正法寺
8	市指定	スギ	上垂木 542	4.35	31.5	
9	市指定	カヤ	結縁寺 54	2.01	12.0	結縁寺
10	市指定	スダジイ	上西郷 2707-11	3.13	12.0	五社神社
11	市指定	クスノキ	大池 773	1.97	12.0	津島神社
12	市指定	ヒヨクヒバ	倉真 2854	3.13	14.5	世楽禅院
13	市指定	サザンカ	倉真 2854	1.91	8.0	世楽禅院
14	市指定	クロガネモチ	上内田 2300	3.52	15.0	
15	市指定	ミツバツツジ	高田 8-2	1.50	3.5	
16	市指定	カイツカイブキ	肴町 6	3.06	16.5	蓮福寺
17	市指定	スダジイ	逆川 336	5.20	20.0	若宮神社
18	市指定	イヌマキ	伊達方 1175	2.40	15.0	
19	市指定	ハナカイドウ	居尻 482	1.62	15.0	顕光寺
20	市指定	エノキ	大池 773	1.94	13.0	津島神社
21	市指定	クスノキ	初馬 3875	4.87	25.0	十五所神社
22	市指定	カヤ	初馬 3875	3.90	25.0	十五所神社
23	市指定	ヤマザクラ	成滝 120	3.40	10.0	阿弥陀寺
24	市指定	シダレウメ	上西郷 6273	0.85	4.0	
25	市指定	イヌマキ	倉真 8617	2.70	17.0	
26	市指定	スダジイ	仁藤 71	3.75	18.0	神明宮
27	市指定	ケヤキ	仁藤 70-1	2.76	24.0	不動院
28	市指定	スダジイ	仁藤 70-1	4.88	21.0	不動院
29	市指定	ヒトツバタゴ	千羽 514	1.45	11.0	
30	市指定	イヌマキ	千浜 5031	2.26	13.3	
31	市指定	スダジイ	安養寺 95	4.31	23.0	白山神社
32	市指定	ヤマザクラ	八坂 38	3.05	8.3	
33	市指定	ツクバネガシ	大野 1013-1	2.64	25.0	長松院
34	市指定	スギ	大野 1013-1	3.48	30.0	長松院
35	市指定	スギ	大野 1013-1	3.52	31.0	長松院
36	市指定	アカマツ	中 3300	2.10	7.6	
37	市指定	ケヤキ	中西之谷 378	2.30	20.0	
38	市指定	シラカン	上西郷 6067-1	3.76	22.0	長間神社
39	市指定	クスノキ	大和田 433	4.21	20.0	
40	市指定	ヒノキ	大和田 666-1	2.93	28.0	法之脇神社

表 2-4-8 保存樹木指定状況 つづき

番号	区分	樹種	所在地	幹の周囲 (m)	高さ (m)	備考
41	市指定	コウヤマキ	黒俣 1	1.97	11.0	泉区
42	市指定	ヒヨクヒバ	小貫 475	3.60	18.0	意正院
43	市指定	スダジイ	本郷 1389-1	3.30	19.0	長福寺
44	市指定	スダジイ	本郷 1389-1	4.15	20.0	長福寺
45	市指定	ヤマグワ	本郷 1389-1	1.75	8.5	長福寺
46	市指定	ヤマモモ+ヒノキ	本郷 2422	3.10	20.0	八幡神社
47	市指定	モミ	富部 571	2.58	20.0	常光院
48	市指定	ヒヨクヒバ	富部 571	3.33	13.0	常光院
49	市指定	スダジイ	高田 304-1	3.01	15.0	
50	市指定	スダジイ	八坂 1144	4.50	20.0	日吉神社
51	市指定	クロマツ	浜川新田 660	2.93	18.0	
52	市指定	クスノキ	大淵 9341-2	3.08	15.0	雨垂天神社
53	市指定	イヌマキ	伊達方 1420	2.01	9.0	子安観音
54	市指定	キハダ	遊家 1042	1.76	26.0	
55	市指定	イチヨウ	細谷 1521	2.78	26.0	
56	市指定	ムクロジ	中西之谷 343	2.80	20.0	上島神社
57	市指定	ヤマザクラ	日坂 506-1	1.75	10.0	常現寺
58	市指定	クロマツ	久居島 495-2	2.66	30.0	
59	市指定	モチノキ	伊達方 1510	2.90	24.0	大原子神社
60	市指定	イヌマキ	上垂木 87	2.04	16.0	大雲院
61	市指定	スダジイ	上垂木 97	2.29	15.0	大雲院
62	市指定	イロハモミジ	居尻 383	2.33	14.0	
63	市指定	スギ	居尻 383	2.90	20.0	
64	市指定	ヤマザクラ	大和田 924-3	3.33	20.0	
65	市指定	スギ	萩間 675	4.35	22.0	
66	市指定	ヤマザクラ	掛川 1104	2.29	15.0	龍華院
67	市指定	クスノキ	大淵 8338	2.06	15.0	江岳寺
68	市指定	ナギ	大淵 8338	1.65	12.0	江岳寺
69	市指定	ナギ	西大淵 5631-1	2.16	17.0	三熊野神社
70	市指定	ヤマザクラ	高御所 1628	2.93	13.3	浅間神社
71	市指定	ウバマガシ	千浜 6236	2.60	5.5	
72	市指定	イヌマキ	上内田 2586	2.00	18.0	龍登院
73	市指定	アラカン	城西 1316-2	2.20	10.0	
74	市指定	ヤマモモ+ヒノキ	萩間 804-1	2.30	10.0	

(資料:掛川市地域支援課)



（資料：平成 24 年度 都市計画基礎調査）

図 2-4-3 緑地協定・条例

2-5 その他の調査

(1) 広域避難地・広域避難所

掛川市の広域避難地・広域避難所、福祉避難所等は 45 ヶ所で、その多くは小中高校となっています。

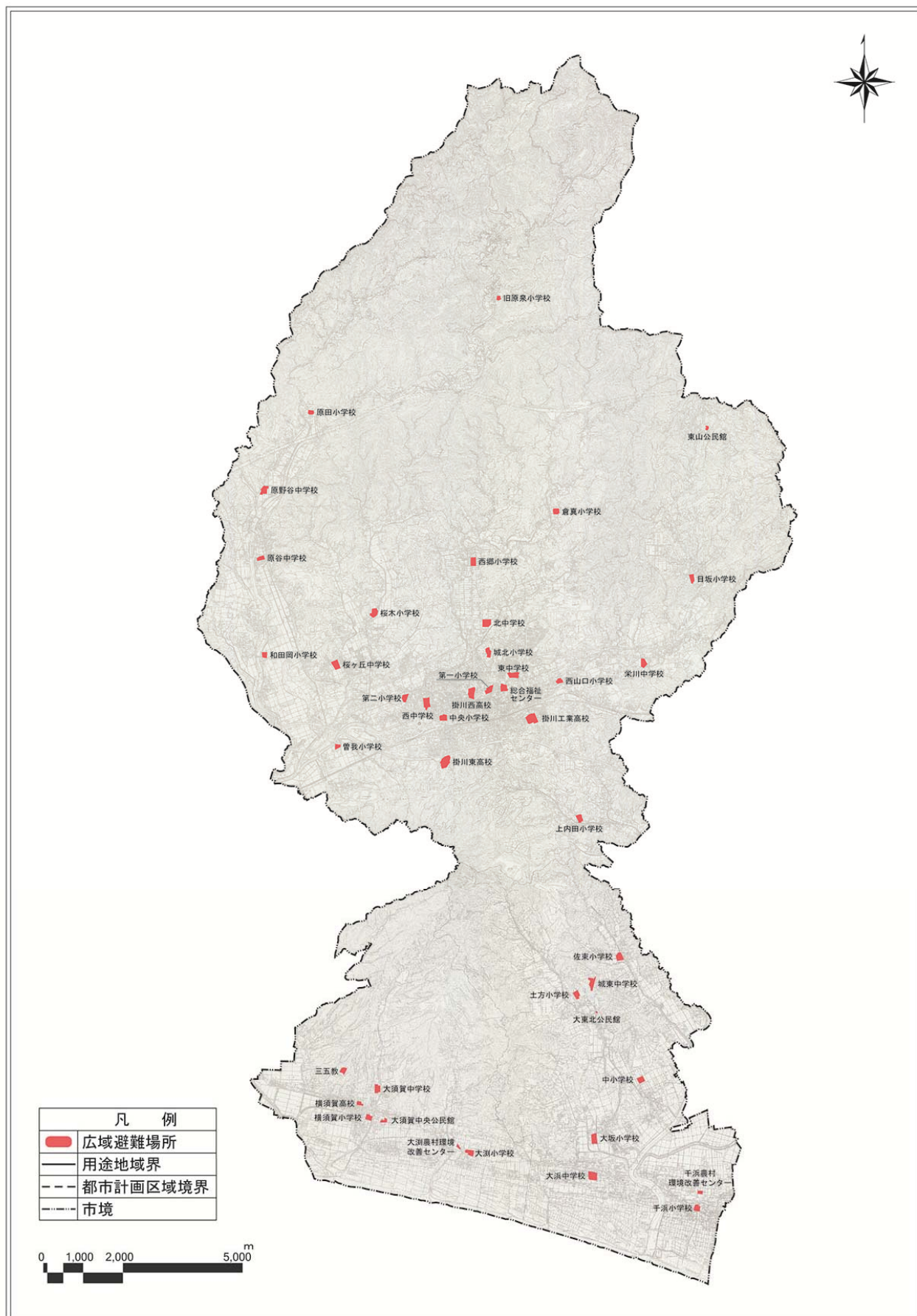
表 2-5-1 広域避難地・広域避難所、福祉避難所等

番号	名称	住所
1	第一小学校	掛川市掛川 1108 番地の 1
2	掛川市総合福祉センター	掛川市掛川 910 番地の 1
3	掛川西高校	掛川市城西一丁目 1 番 6 号
4	中央小学校	掛川市下俣 633 番地
5	西中学校	掛川市下俣 1007 番地の 1
6	掛川東高校	掛川市南西郷 1357 番地
7	掛川工業高校	掛川市葵町 15 番地の 1
8	第二小学校	掛川市大池 438 番地の 1
9	東中学校	掛川市葛川 1039 番地
10	城北小学校	掛川市水垂 178 番地
11	北中学校	掛川市上西郷 220 番地の 2
12	上内田小学校	掛川市上内田 3325 番地
13	西山口小学校	掛川市成滝 145 番地
14	栄川中学校	掛川市本所 538 番地
15	日坂小学校	掛川市大野 3 番地の 1
16	東山公民館	掛川市東山 1265 番地の 1
17	倉真小学校	掛川市倉真 3774 番地
18	西郷小学校	掛川市上西郷 2606 番地の 2
19	さくら咲く学校	掛川市萩間 423 番地
20	原田小学校	掛川市原里 1623 番地の 1
21	原野谷中学校	掛川市寺島 15
22	原谷小学校	掛川市本郷 561 番地の 1
23	桜が丘中学校	掛川市富部 716 番地
24	桜木小学校	掛川市下垂木 1472 番地の 1
25	和田岡小学校	掛川市吉岡 639 番地の 2
26	曾我小学校	掛川市領家 384 番地
27	千浜小学校	掛川市千浜 5849 番地
28	大坂小学校	掛川市大坂 5667 番地
29	大浜中学校	掛川市大坂 1147 番地
30	大東北公民館	掛川市下土方 267 番地の 1
31	土方小学校	掛川市上土方 286 番地の 1
32	城東中学校	掛川市下土方 680 番地
33	佐東小学校	掛川市小貫 1474 番地

表 2-5-1 広域避難地・広域避難所、福祉避難所等 つづき

番号	名称	住所
34	中小学校	掛川市中 3080 番地
35	横須賀高校	掛川市横須賀 1491 番地の 1
36	大須賀中学校	掛川市横須賀 1007 番地
37	横須賀小学校	掛川市横須賀 1110 番地
38	大淵小学校	掛川市大淵 5602 番地
39	大淵農村環境改善センター	掛川市大淵 6881 番地の 2
40	大須賀中央公民館	掛川市西大淵 100 番地
41	三五教	掛川市横須賀 725 番地の 8
42	南体育館	掛川市大淵 14234 番地の 1
43	千浜農村環境改善センター	掛川市千浜 4002 番地
44	大東保健センター	掛川市三俣 620 番地
45	たまり一な	掛川市満水 1652 番地

(平成 26 年 12 月末現在)



(資料:掛川市 危機管理課)

図 2-5-1 避難地・避難所

2-6 上位・関連計画の把握

■「地球・美感・徳育」都市宣言（平成2年4月）

地球・森林都市（全市生涯学習公園化計画をすすめる）

掛川市民は、いつも地球環境や平和のことを考え、森と水を大切に思い、わがまち全体を清らかな公園のようにつくり上げていきます。

美感・活力都市（全社生涯学習活性化計画をすすめる）

すべての法人と団体は、美しい心、美しい都市、美しい人をモットーに、知識・情報集積に努め、信頼の人間関係をしなやかに活性化させていきます。

徳育・安心都市（全戸生涯学習安心化計画をすすめる）

すべての家族は食育（食事の教育）・撫育（愛撫する教育）という徳育に努め、いつも福祉の心をもって、健康な家庭と安心な地域社会を築いていきます。

■第一次掛川市総合計画（2007～2016年）

土地利用構想

（1）自然環境との共生

森林、河川、海岸など、掛川市の生態系を支える中心的な自然環境を保全維持に努め、自然環境と共生した土地利用を進め、かけがえのない地域資源を良好な状態で次世代へ譲り渡していくことにします。

（2）田園環境との調和

里山、谷田、海岸砂地などの自然環境を活用して茶畑、水田、施設園芸などが営まれ、特色ある農業と景観を生み出してきました。農業や景観を尊重し、田園環境と調和した土地利用を進めます。

（3）歴史と文化の尊重

掛川市は、城下町、宿場町として発展してきた歴史があります。掛川城、高天神城、横須賀城、日坂宿などをはじめとする歴史・文化的資源を尊重し、地域独自の歴史文化と調和した土地利用を進めます。

（4）質の高い生活環境の形成

自然災害に強いまちになるよう、防災機能を高める土地利用を実現するとともに、市民が安全・安心に暮らすことができる快適で、質の高い生活環境に向け土地利用を進めます。

(5) 調和と効率化への貢献

中心市街地から農山村地域に至るまで、調和とバランスの取れたまちを形成するため、商業機能や居住機能の計画的な誘導を図り既存市街地の高度利用と、効率的な土地利用を進めます。

(6) 国土軸の有効活用

市域のほぼ中央部を新幹線や高速道路といった国土軸が横断し、さらに近接地に御前崎港や富士山静岡空港があります。産業集積や活発な地域の発展に向け、国土軸を有効活用する土地利用を進めます。

■掛川市都市計画マスタープラン（平成 21 年 4 月）

全体構想

1 都市づくりの基本理念

- ・拠点の充実と連携促進による交流盛んな活力あるまちづくり
- ・暮らし・生活を支える産業が力強く発展するまちづくり
- ・安全・安心・快適なまちづくり
- ・地域資源を活かした個性的で魅力あるまちづくり
- ・環境共生のまちづくり
- ・市民・企業・行政等の協働によるまちづくり

2 都市づくりのテーマ

「海と山と街道がつながり、夢・未来を創るまち」
～人、自然、都市が調和・共生し、活力とうるおいのあるまち 掛川～

3 将来都市像 ～将来あるべき都市の姿～

- ① にぎわいや活力を創出するまちづくりを進めます。
- ② 都市活動を支える総合的な交通体系が整ったまちづくりを進めます。
- ③ 産業活動の基盤が確保されたまちづくりを進めます。
- ④ 地震や風水害などの災害に強く、犯罪の起きにくいまちづくりを進めます。
- ⑤ 誰もが安全、安心、便利に移動できるまちづくりを進めます。
- ⑥ 快適に住み続けることができるまちづくりを進めます。
- ⑦ 美しく調和のとれた都市景観を創出するまちづくりを進めます。
- ⑧ 観光資源や歴史・文化的資源を活かしたまちづくりを進めます。
- ⑨ 資源を有効に活用し、環境と共生したまちづくりを進めます。
- ⑩ 市民・企業・NPO 等が積極的に参加できるまちづくりを進めます。

4 将来都市構造 ～都市機能の配置等の概念～

南部の地域拠点や「海」、北部の「山」が、市街地連携軸や環状軸を介して中心市街地と結ばれ、「街道」たる国土軸等（2つの高速道、2つの国道、鉄道等）により市外、県外ともつながった都市構造としています。その上で、人と自然が調和・共生し、市街地も郊外の地域生活拠点も活力あふれた都市として発展することを目指します。

5 分野別基本方針

(1) 土地利用の誘導方針

<都市的土地利用>

- ・都市基盤整備事業の推進と地区計画制度等の適切な運用を図ります。
- ・土地利用促進・検討エリアについては、周辺の自然環境等への配慮・調和を基本とし、地域の振興を念頭に、土地利用を誘導する区域として検討を進めます。

<自然的土地利用>

- ・既成市街地等の区域以外は、自然的土地利用を図る区域として位置づけます。
- ・森林環境保全地や海浜環境保全地は、保全を図る一方で、レクリエーション等による交流の場として活用を進めます。

(2) 都市交通の基本方針

<幹線道路網>

- ・都市間・拠点間の連携強化のため、適切な整備と維持管理を推進して、都市構造を支える道路交通体系の実現を図ります。
- ・道路整備に際しては、整備の優先順位を明らかにして計画的に取り組みます。

<公共交通体系>

- ・高齢化の進展を踏まえ、自動車交通から公共交通への転換を促進します。
- ・公共交通サービスの提供については、空白地域の改善を進めながらサービスの手法等の調査研究を進めます。

<人と自然に優しい交通体系>

- ・ユニバーサルデザインの導入により、歩行者や自転車等、誰にでも安全で使いやすい歩道の整備を推進します。
- ・二酸化炭素の排出削減等、環境負荷軽減のため、公共交通機関の利用を促進します。

(3) 都市環境の基本方針

<公園・緑地等>

- ・公園・緑地等の機能的な配置と計画的な整備を進めながら適切な維持管理に努めます。

<水と緑の確保・活用>

- ・生活にうるおいをもたらす水と緑の保全と整備を推進し、ネットワーク化を図ります。

<資源循環型都市づくり>

- ・資源の循環利用を促進し、太陽光等のクリーンエネルギーの活用促進を図ります。

＜安心で活力ある地域づくり＞

- ・地域が自立・持続するため、地域の生活基盤充実を図り、子供から高齢者までが、安心して活力ある暮らしができる地域づくりを進めます。

(4) 都市防災等の基本方針

＜災害に強い都市づくり＞

- ・県の「TOUKAI-0」プロジェクトを推進し、木造住宅の耐震性を高め、あわせて建築物の防火性能の向上等を進めます。
- ・水害防止について菊川・太田川等の支川の未改修河川の整備を推進します。

＜防災施設等の整備、充実＞

- ・公共施設の耐震化とともに、緊急輸送路等の整備を推進します。
- ・「自助・協助・公助」の考えに基づき、自主防災会等マンパワーの育成を図ります。

＜犯罪の起きにくい都市づくり＞

- ・防犯灯の設置推進や公園等の植栽の工夫により死角の少ない空間形成を図ります。
- ・地域組織における防犯活動等を通じ、地域の防犯力の向上を図ります。

(5) 都市景観の基本方針

＜豊かな自然景観の保全・活用＞

- ・山間部の自然緑地、海岸の砂浜や防風林は積極的に保全しつつ、自然とのふれあいの場としても活用を図ります。
- ・茶畑や水田の景観について積極的に保全を図ります。
- ・北部山間地や海岸部では眺望景観を得るための眺望点として保全や環境整備を図ります。

＜歴史・文化的資源の活用＞

- ・歴史・文化的資源を積極的に保全し、これらを有効活用したまちづくりを推進します。

＜魅力ある市街地景観の形成＞

- ・都市の個性と魅力創出のため、拠点市街地等ではその機能や性格に応じた適切な街並み景観の整備・誘導を図ります。

＜交流や暮らしの景観の形成＞

- ・地域の営みから生まれた伝統行事等は、地域の個性を表す貴重な資源として保全を図ります。